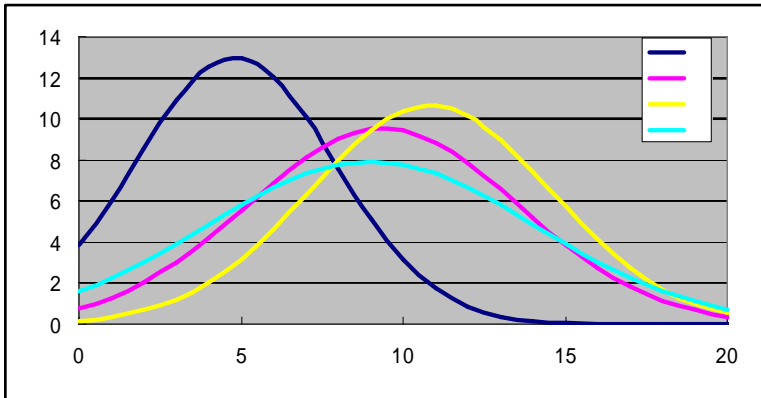


平成19年7月31日

久しぶりに検証シートをいじってみた。

「係数」をいろいろいじっていくと、面白いことが分かった。



ランクIとランク の重なり量を出来るだけ小さくしようとしていったら(このグラフで重なりは約50%)、なんと、ランク とランク のラインがとても近くなった(約85%)。

この意味は一体何を意味しているのか？

もしかすると、これこそが「何でこの図面がランク で、この図面はランク なの？」という現象を物語っているのかもしれない。

つまり、ランク の人数をある程度決めてそこに行き着くように係数をかけていくと、結局「ランク とそれ以外」の区分けにしかならないのではないかと。

ちなみにこのときの係数は以下の通りである。

外構		5
1階		1
住戸AP		1
北向住戸		7
間取		1
コミュニティ形状		1
メインコア位置		5
車路幅5.5未		1
梁下高さ		1
擁壁撤去		1
地下駐入口位置		1
地下駐入口形状		2
診療動線		1
診療AP		1
レスト外AP		5
便所通 診入口		1